

令和8年度 新川みどり野高校 年間指導計画(シラバス)

学科	教科	科目(講座名)	授業科目	単位数	教科書	使用教材
普通科・福祉授業科	地歴	歴史総合	全	2	明解 歴史総合(帝国書院)	明解歴史総合ノート(帝国書院)
学習の到達目標	・現代社会の地域的特色と日本及び世界の展開に関して理解している。 ・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察することができる。 ・見通しをもって学習に取り組み、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組みようとしている。					
学期	月	単元	学習内容	到達度目標		
前期	4月	1部 歴史の扉 1章 歴史と私たち		絵画・資料・数値など歴史における史料の重要性と、その正しい読み解き方について理解している。		
		2章 歴史の特質と資料	1 資料を取り扱ってみよう 2 歴史叙述とは何か考えてみよう	近代化に関わる史料を読み解く技能を身に付けている。		
	5月	2部 近代化と私たち 1章 「近代化」への問い		近代化に関わるキーワードから問いを立てることができる。		
		2章 江戸時代の日本と結びつく世界	1 アジアのなかの江戸社会 2 清の繁栄と結びつくアジア 3 アジア・アメリカに向かうヨーロッパ	18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について理解している。 「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、自分の言葉で表現している。		
	6月	3章 欧米で生まれる国民国家	1 イギリスの革命とアメリカの独立 2 フランス革命～ヨーロッパ近代の幕開け 3 革命の拡大と国民意識の芽生え 4 1848年～近代ヨーロッパの転換点 5 イタリア・ドイツの統一とロシアの近代化	市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯を理解している。 市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現在社会との関わりを考察し、自分の言葉で表現している。		
		4章 産業革命による欧米とアジアの変化	1 産業革命で変わる社会 2 イギリスの繁栄と国際分業体制 3 アメリカの拡大と科学技術の発展 4 「西洋の衝撃」と西アジアの変化 5 南・東南アジアの植民地化 6 ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争 7 黒船の来航と日本の対応	国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、自分の言葉で表現している。 アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、「西洋の衝撃」の歴史的意義について自分の言葉で表現している。		
	7月	5章 日本における近代国家の形成	1 新体制の模索と江戸幕府の滅亡 2 新政府の誕生 3 近代国家を目指す日本	明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について理解している。 明治維新の歴史的意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、自分の言葉で表現している。		
		6章 帝国主義の影響と日本を含めた東アジアの変化	1 帝国主義の広がり人々の移動 2 世界市場と日本の産業革命 3 激動する東アジアと日清戦争 4 列強の中国進出と日露戦争 5 日露戦争が与えた影響	日清戦争・日露戦争の歴史的意義、及びアジア諸国の民族運動に与えた影響について考察し、自分の言葉で表現している。		
	9月	7章 「近代化」を振り返り現代的な諸課題と結びつけて考えよう		近代化に関わる史料を読み解く技能を身に付けている。		
	後期	10月	3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1章 「国際秩序の変化や大衆化」への問い		国際秩序の変化や大衆化に関わる史料を読み解く技能を身に付けている。 資料から得た情報と知識を統合し、国際秩序の変化や大衆化を読み解く問いを表現している。	
2章 第一次世界大戦とその影響			1 バルカン半島の緊張と世界大戦への道 2 第一次世界大戦の展開とロシア革命 3 大戦終結後のヴェルサイユ体制 4 東アジアの民族自決の行方 5 中東・インドの民族自決の行方	国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について理解している。 ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化を理解している。 新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、自分の言葉で表現している。		
11月		3章 大衆社会の形成と社会運動	1 大衆社会の出現とアメリカの繁栄 2 ヨーロッパの復興と大衆の政治参加 3 日本における大衆社会の形成 4 政党政治と国際協調外交の発展	世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら理解している。		
		4章 揺らぐ国際秩序と日本の行方	1 世界恐慌が与えた影響 2 ファシズムの台頭と拡大 3 政党政治の断絶と満州事変 4 日中戦争の始まり	ファシズム体制の形成下で、ドイツや日本で大衆がなぜ戦争に協力していったのかを考察し、自分の言葉で表現している。		
12月		5章 第二次世界大戦とその影響	1 第二次世界大戦の始まりと拡大 2 太平洋戦争の開始とその展開 3 第二次世界大戦の終結とその傷跡 4 戦後処理と日本の改革 5 新たな国際秩序と冷戦の始まり 6 日本撤退後の東アジア 7 冷戦の展開と日本の独立	アジア・太平洋戦争を含む第二次世界大戦の展開とその被害について理解し、平和の重要性について自分の言葉で表現している。 冷戦および冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について、日本と関連付けながら理解している。		
		6章 「国際秩序の変化や大衆化」を振り返り現代的な諸課題と結びつけて考えよう		国際秩序の変化や大衆化に関わる史料を読み解く技能を身に付けている。 資料から得た情報と知識を統合し、国際秩序の変化や大衆化を読み解く問いを表現している。		
1月		4部 グローバル化と私たち 1章 「グローバル化」への問い		グローバル化に関わる史料を読み解く技能を身に付けている。 資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を統合し、グローバル化を読み解く問いを表現している。		
		2章 冷戦で揺れる世界と日本	1 スターリン批判と日本の国際社会復帰 2 米ソの緊張緩和と各国の動向 3 第三勢力の形成と脱植民地化 4 ハレスチナ問題と中東戦争	冷戦下の日本と世界の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、自分の言葉で表現している。		
		3章 多極化する世界	1 ベトナム戦争と揺らぐアメリカ 2 冷戦下の日本とアジアの歩み 3 「経済大国」日本の影響 4 経済発展に取り組み東・東南アジア 4 中東情勢とソ連の弱体化	1960年代から80年代を中心に、冷戦下における各国の選択と経済成長について理解している。 各国の選択を比較し、「東アジアの奇跡」が起こった要因や世界史における意義について考察し、自分の言葉で表現している。		
		4章 グローバル化のなかの世界と日本	1 冷戦の終結と変わる世界構造 2 冷戦の終結が与えた世界への影響 3 超大国アメリカと中東情勢 4 国際環境の変化と日本 5 グローバル化による国際社会の変容	冷戦終結の過程とグローバル化の特質について理解している。 グローバル化の進展や地域統合、ナショナリズムの強化について各地域を比較して考察し、その特質や問題点を自分の言葉で表現している。		
	5章 「歴史総合」を振り返り現代的な諸課題の形成と展望を考えよう		資料から得た情報と知識を統合し、世界と日本の近現代史を読み解く問いを表現している。			
2月						